

自分もみんなも 明るく うれしく よかったね

3月号

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html> No.258

メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp 2021（令和3）年3月22日

卒業・進級する子どもたちにこの詩を贈ります。定年退職する自分にも……。

峠

作：真壁 仁

峠は決定をしいる所だ。
峠には訣別のための明るい哀愁が流れている。
峠路をのぼりつめたものは
のしかかってくる天碧に身をさらし
やがてそれを背にする。
風景はそこでとじあっているが
一つを失うことなしに
別個の風景にはいって行けない。
大きな喪失に耐えてのみ
新しい世界がひらける。
峠に立つとき
過ぎ越し道はなつかしく
ひらけくる道は楽しい。
道はこたえない。
道はかぎりなく誘うばかりだ。
峠の上の空はあこがれのようにあまい。
たとえ行く手が決まっても
人はそこで
一つの世界に別れねばならぬ。
その思いをうずめるため
旅人はゆっくりと小便をしたり
摘み草をしたり
たばこをくゆらしたりして
見えるかぎりの風景を目におさめる。

終業式、卒業式が目前となりました。子どもたちの成長した姿を見て嬉しくもあり、別れがたくもあり。過ぎ越し道を振り返ると、コロナ禍でたいへんな一年でもあり、様々な困難を子どもたちと大人たちみんなで乗り越えてきた学び多き一年でもあったようにも思えます。「自分も みんなも 明るく うれしく よかったね」を合言葉に共に学んで来た仲間として、自分の人生を自分らしくしっかり歩んでいきたいと思っています。みんな幸せになるために生まれてきました。子どもたちの明るい未来にエールを贈ります。

保護者・地域のみなさま、新井中央小学校の教育活動へのご理解とご協力をありがとうございました。これからも、子どもたちをよろしく願います。

校長 加藤 晃